

【中学三年生のご父兄から】

松井先生には、いつも夜遅くまで熱心に指導していただき、頭の下がる思いです。

さて、塾の思い出にふれながら、感想を述べさせていただきます。

「僕が松ちゃんに出会ったのは・・・」と一高校生の感想を載せた白い紙がポストに入っていたのは、昨年の秋でした。塾の広告にしては“みすぼらしい”この白い紙は、ポイするには惜しまれる“名文”に思われました。そして数日後、子供達を連れて教室の門をくぐった私は、あの名文を書いた主に出会い、なるほどと思いました。親が好くと子も好く、子が好くと親も安心と、相乗効果があったようです。かくて、その後、「よく遊び、よく学べ」の塾の方針のもと、テニス、卓球と息抜きをしながら、不得意な英語も嫌がらず、毎日のように塾通いをしています。また、小さい妹や弟がいる我が家では、集中できないので、塾がまるで自分の勉強部屋のようになり、苦にならずよくもまあがんばれるものだと関心しています。そして、自分の未来像を暗中模索しながら志望校を自分の力をつけていってほしいと願っています。ああ、何とか、早く、桜咲く4月を、めでたく迎えたいものです。